

小野市議会だより

2019. 5
No.186



市議会傍聴と議長との懇談会
(旭丘中学校)

3月11日(月)の本会議を傍聴していただいた後、旭丘中学校の生徒と議長との懇談会を実施しました。



■きらら通り付近だけが発展している気がするが、他の地域は？

□きらら通りのあるシビックゾーンは、警察署ができ、ホテルや新庁舎など、開発が進んでいる。そして、その発展は市全体を元気にしてくれ、他の地域にも必ず波及していく。あなたが住んでいる地域も開発が進み、住宅がどんどん建ってきている。



■母親は、小野市は子育てしやすい環境だと言っていた。でも、自分たちの遊ぶところがないと感じる。

□どういふところで遊びたいと思っているかを聞きたい。大型遊具のあるひまわりの丘公園などは、都市部からたくさん遊びに来ている。他市からは魅力的に映っているようだ。

■旭丘中は老朽化が進んでいるが、改築の予定は？

□今すぐとは言えないが、必ず改築する。改築内容としては新築同様の予定。

議長に聞きたいこと

市議会の傍聴には、市内中学生14名にお越しいただきました。熱心にやりとりを傍聴し、市政に関心を持っていただけなようでした。

感想

・初めて市議会を傍聴して、どのように市の方針を決めているのかがわかった。減多にない機会だったのでとても良い経験になった。

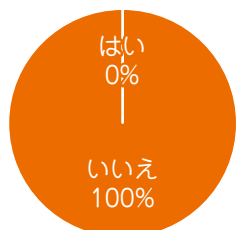
・小野市の身近なことについてのテーマだったので聞きやすかった。

・少し、政治に関心が持てた。自分も生徒会をしていた経験もあったので、それと合わせて勉強になった。

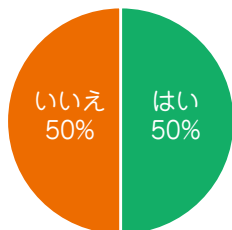
・話し合う内容がとても難しく、あまり分からないところもあったけれど、たくさんの新しい発見があった。



YouTubeで議会放送を見たことがある



議会だよりを読んだことがある



■どうしてソロ池に噴水が設置されたのか？

□市の新たな町づくりに賛同された企業から、ソロ池の景観向上と水質浄化の目的で噴水の寄付を受けた。夜間ライトアップを実施し、市役所新庁舎周辺の更なるにぎわい創出に取り組んでいる。

■道路がでこぼこしている。

□もし、陥没しているような道路があれば、確認して、危なければすぐ補修するので、見つけたら連絡をしてほしい。市長への手紙もぜひ利用してほしい。



■商店街の活性化はできないのか？

□昔より店舗がだいぶ減っている。住居と店舗が一体になっており、店舗を貸すことも難しい。今後の課題。



□市内3拠点からの救急出動は年間約2300件、一日平均6.5件になるが、北分署のサイレンは学校生活において気にならないか。

■特に気にならない。配慮していただいていると思う。

□高校3年生までの医療費無料化について知っているか。

■(全員)知っている。

□この施策は皆さんの健康のためであり、未来への投資。ぜひ続けていきたい。

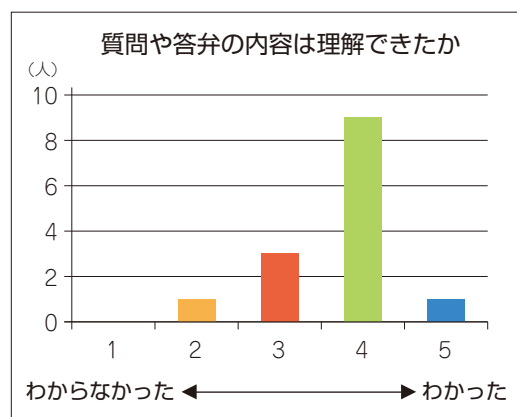
議 会 を 傍 聴 し て み て

・小野市についてたくさん意見が出ていたので、これから安心してできると思った。意見の共有も大切になることも知った。

・大人、高齢者の方の意見が多く、私たち子どもは、意見するのに怖いと感じることがある。だから、意見しやすい場を設けたり、幅広く伝えることができるようにしてほしい。

■議論してほしいテーマ

- ・高齢者が増える中での対策
- ・商店街の活性化
- ・学校や保育園の給食
- ・SNS
- ・インターネットの使用
- ・自転車の通りやすい道路整備
- ・地域活性化
- ・北播磨総合医療センターの緊急時の対応
- など





ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
9人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



新たな
取組



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

児童虐待について

質問 千葉県の事件発覚後、市民の関心も高い。小野市における児童虐待の発件数と現状について問う。

答弁 現在、児童虐待として対応しているケースは新規で60件、継続で43件ある。けがやアザ等が発見されたもの、保護者の養育拒否（ネグレクト）、面前DVや暴言等の事案があり、相談や通報も年々増加している。(市当局)

質問 今後の情報共有や連携体制の取組は。

答弁 児童相談所・警察等の外部機関と小野市要保護児童対策地域協議会を設置し、対応や支援に努めている。平成31年度より「子ども家庭総合支援拠点」に虐待対応専門員や、子ども家庭支援員を配置し、子育てに悩む保護者らの相談にも総合的に対応していく。(市当局)

高坂純子議員（市民クラブ）



QRコード



ごみ対策について

質問 スマホを使用した、「ごみ分別アプリ」の導入や、市のホームページから、「簡単ごみ検索」を提案する。

答弁 アプリの導入は難しいが、キーワードによる検索は検討する。

質問 市内大型店等のマイバッグ普及率を調べたところ、60%強だった。レジ袋を無料で配布している店舗もある。市と提携したマイバッグの普及に努めてはどうか。(市当局)

答弁 店舗側、消費者それぞれの意識が重要であり、提携は考えていない。

答弁 レジ袋5円は安い。例えば500円なら全員がマイバッグを持つ。それよりもごみ処理はタダではない。2億円もかかることを考えて欲しい。市民自らの意識改革なくしてごみの減量にはならない。(市長)

その他の質問事項
・予防医療について

久後 淳司 議員（市民クラブ）



働く環境づくりについて

質問 従業員（職員）満足度（ES）向上への取組は。

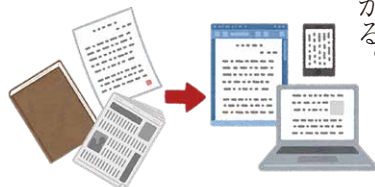
答弁 上司と部下の対話を通じて行う「方針管理制度」や「業績評価」など成果が数値で表される仕組みがあり、職員のモチベーション向上に寄与している。今後もESと市民の皆様方により満足いただける行政サービスの展開に努める。（市当局）

質問 デジタル化への取組は。

答弁 伝票管理や文書閲覧・保管、捺印等をデジタル化やオンライン化するには、官民間わずまだ多くの文書が紙ベースであり、システム導入にも多額の費用がかかる。

今後もAI（人工知能）等の調査も行いながら、効率的なサービスシステム構築を進めていく。

（市当局）



成長期における子どもの目の健康について

質問 学校での視力悪化抑制の取組は。

答弁 教室内の照度は、300ルクス以上の明るさを確保し、スマホやゲーム機の使用時間に関するルール作り、バランスの良い朝食摂取の重要性についても啓発している。

（市当局）

新産業団地について

質問 企業誘致の計画は。

答弁 企業選定は、異業種・本社機能・設備投資をポイントにしている。分譲方法は、企業提案コンペ方式を予定しており、土地利用計画・雇用創出・財務状況に基づき決定される見込みである。（市当局）

平田 真実 議員（民政クラブ）



より開かれた学校運営について

質問 様々な理由でスカートを着用したくない子どももいる。誰もが安心して教育を受けられるよう、一律でスカートとなる女子生徒の制服について、子どもたちの要望を待つのではなく、開かれた学校運営の中で幅広い意見を求めるなど議論する機会も必要では。

答弁 制服変更は、教員や保護者間で検討を重ね、保護者の合意を得て決定する。配慮が必要な場合は相談の上、個別に対応する。（市当局）

市場地区における「コミュニティ拠点」について

質問 残念ながら閉店に至った「ゆうゆうの里かしやま」のこれまでの取組に敬意を表すると共に、今後の計画について問う。

答弁 榎山駅待合室においてこれまで2店舗が閉店となった原因分析を進めている。当面は新たな運営者を募集せず、待合室や市民団体の展示スペースとしての利用を視野に入れているが、この拠点を活用したいとお声があれば、その計画を公平公正に審査した上で、市はできる限り熱意に応じていく。（市長）

小野市福祉年金条例を廃止する条例の制定について

質問 各障がい者団体には事前にご理解いただいたとのことだが、団体に所属しておられない方々にとって、今年度で終了というのは急であり説明が不十分では。

答弁 最後の振込通知送付の際、廃止に至った状況や、充実してきた現在の障害福祉サービスに係るご案内をお送りする。今後も様々な機会を通し、障がい福祉施策の見える化による理解促進に努めたい。（市当局）

河島三奈議員（改革クラブ）



市長施政方針について

質問 現庁舎敷地の跡地利用について、現時点での構想あるいは考え方を改めて伺う。

答弁 現庁舎並びにコミセンおの等、新庁舎建設後に返却予定の敷地の大部分が熊野神社の所有地であるため、その後の活用に関しては熊野神社が決定されるべきことであるが、現在のところ、開発計画等、具体的なことは何も決まっていない。

立地条件の良い広大な土地で、市のまちづくりの重要な場所であると考えており、熊野神社側から市の助言や、協力をお願いしたいとの申し出もあることから、熊野神社側と情報共有を行いながら、行政という立場で適切な助言、指導等により関わっていききたい。

（市当局）

質問 跡地の活用案においては、行政だけで判断できることではないと理解しているが、あまりにも長期間方向性が示されないことは問題であ

ると考える。ひいては、市民、専門

的見識を持つ有識者、行政が三位一体となって、現庁舎跡地の活用のあり方委員会等の会議体を設立してはどうか。

答弁 基本的に小野市の土地ではなく、まずは、地権者の方々が主体的に考えるべき問題である。そのうえで、専門的な意見や市民住民の意見等様々な角度から議論し検討されるのであれば、行政として協力していく。

（市長）



小林千津子議員（市民クラブ）



「公設コンビニ」について

質問 高齢者にとって徒歩圏内に食料品店がないことは不適切な食生活に繋がる。「公設コンビニ」を、今後どのような地域に設置しようと考えているのか。

答弁 単に買い物支援という側面だけではなく、コミュニティの醸成、災害時の備蓄拠点、地域の参画という狙いがある。地域ぐるみでの運営を視野に、市内4、5ヶ所から選定する。

（市長）

らんらんバスの増車について

質問 高齢者の外出支援など、らんらんバスの役割は大変大きい。公共交通機関が貧弱だと命に関わりかねない。運転免許返納後の足の確保を今後どのように考えているのか。

答弁 福祉施策としてスタートしたらんらんバスは、平成30年度の利用者数が18万人を超え、過去最高を更

新する見込み。利用者は、65歳以上

が過半数を占め、買い物や通院など日常生活において重要な役割を担っている。外出機会を確保し創出することが高齢者活躍社会の実現に向けた重要な要素であると考え、地域の利用者の状況に応じて「増車していく」という強い思いで取り組んでいく。

答弁 デマンドバスの活用や官民の協働等も総合的に考えていく。

（市長）

自治会における今後の女性参画について

質問 更なる推進への考えは。

答弁 市民の意識向上や、各女性団体の活躍から自治会における女性参画は着実に進んできている。

（市当局）

答弁 今後は女性だけの車座集會等、話しやすい機会を設けることも重要である。

（市長）

山本 悟朗 議員（民政クラブ）



障がいを持つ幼児の保育について

質問 障がいを持つ幼児を預かる保育園には、市の独自施策として、加配を行うための補助金を保育園へ支出しているが、現行制度では実際に保育園が加配を行うに足りる補助となっていない。制度の見直しが必要と考える。

答弁 保育園に関しては、国の施策として3歳児からの無料化が、今年10月から始まるが、この施策について今後どのような問題が顕在化するかを注視している。



障がいを持つ幼児の保育についても、国のやるべきことで、市として現時点での制度の見直しは行わない。

（市長）

自治会役員の市政参画について

質問 市の行政に関連して開催される19もの委員会、会議に各地区の代表区長が当て職に割り振られている。自治会役員は多忙であるので、負担軽減のために、見直すことはできないか。

答弁 代表区長は、それぞれの自治会の代表であり、多忙を極められていることは承知している。

安易に地域の代表であるとの理由で、各種委員を依頼するのではなく、真に代表区長でないとい目的が果たせないものに絞り込むよう、十分検討をしていく。

（市当局）

その他の質問事項

- ・ 歯科検診事業の充実について
- ・ 前谷川の整備について

竹内 修 議員（公明党）



保育費用の負担軽減について

質問 現在小野市では3歳児以下の保育料についても、国が定めた保育料から約30%軽減する独自の取組が行われている。

今後、国の施策で3歳児の保育料も無料化されることから、0歳児から2歳児に対する更なる支援についての考えを問う。

答弁 国は、本年10月から3歳から5歳児の保育料の無料化、及び0歳から2歳児の保育料についても市民税非課税世帯について無料化を予定している。

市では、これまでから4・5歳児の保育料の無料化に加え、3歳児以下の保育料についても国の定める保育料基準額から約30%の軽減を行っており、0歳から2歳児の保育料については、年間約2千万円の負担軽減となっている。

また県は、10月1日の国の無料化実施に合わせて、今までは多子世帯、2番目、3番目の子どもに対して軽減措置として保育料の基準額を超えた場合に補助していたが、新たに第1子の保育料軽減事業で、市民税が57,700円（年収360万円）

未満の世帯で3歳未満を対象に、月額5千円を超える保育料に対し最大1万円を補助し、保育料の2分の1もしくは1万円のどちらか少ない方を補助することとした。負担割合は、県と市が2分の1ずつで、実施時期は10月から。

現在小野市に待機児童はいないが、今後待機児童の発生も懸念されるため、国の無料化等の影響を注視していく必要がある、3歳未満児への更なる支援については慎重に対応すべきと考える。

（市当局）

岡嶋正昭議員（市民クラブ）



市長施政方針を受けて

質問 浄谷黒川丘陵地の整備について

答弁 第1弾として、全天候型舗装400mトラックと人工芝のサッカー場を有する多目的運動広場が来年春季にオープン予定。

災害時には広域避難場所や自衛隊等の災害救援活動の拠点となる施設として整備を進めている。

次なる一手として、クロスカントリーコースの整備を検討し、大会開



（仮称）浄谷黒川多目的運動広場 完成予定図

催や合宿を誘致し、交流人口の増加を目指したい。

今後、全体の土地利用構想を踏まえ、時代のニーズとの整合性を検証しながら、豊かな自然環境を生かした「夢のある構想」の実現に向け取り組んでいく。

（市当局）

質問 「医療・福祉・健康」が三位一体となった拠点整備について

答弁 看護師や理学療法士など、「医療系専門学校」の誘致を構想しており、これら職種の総合輩出拠点を、1学年200名、総勢600名規模の小野市初となる専門学校として市内での設置を目指す。

一方で、県知事等に要望している「小野起生園の移転」、その結果を受けた「市立特別支援学校の移転」と「県立高等部の併設」については、県事業が未定であり、市教育委員会が策定した学校長寿命化計画との兼ね合いの中で、市立特別支援学校の最適な移転時期を多面的に検討していきたい。

（市当局）

藤原章議員（日本共産党）



豚コレラへの対応について

質問 豚コレラが大きな問題になっている。市内にも養豚農家があるが、市独自で養豚農家のイノシシ防護柵を補助できないか問う。

答弁 防護柵材支給は自治会・農会の申請で行っており、個人に対する補助はしていない。

（市当局）

要介護認定者の
障害者控除適用について

質問 要介護認定者は税金申告で障害者控除を受けられる可能性があるが、手続きと審査状況を問う。

答弁 手続きの窓口は市役所高齢介護課で、介護保険の主治医意見書と認定調査票で審査する。

（市当局）

質問 市民の皆さんが知っておられることが重要なので、一歩踏み込んだ周知ができないか問う。

答弁 市のホームページや広報で周知しているが、介護認定の結果通知と併せた周知を検討する。

（市当局）

福祉給付制度適正化条例

質問 この条例は多くの問題があるが改正する考えはないか問う。

答弁 全国の首長から圧倒的に評価されている。当り前のことを決めており、変える必要はない。

（市長）

水道料金の消費税について

質問 一般家庭用の水道料金は消費税据え置きにできないか問う。

答弁 国から転嫁を適正に行うよう通知が来ている。

（市当局）

福祉年金廃止について

質問 福祉年金廃止は障害者福祉の後退だと思いが考えを問う。

答弁 障害者福祉は大きく前進してきた。整理・統合すべき時だ。受給者からも今までの支給に感謝し、廃止を理解する声がある。

（市長）

議案27件を慎重に審査し、可決・同意!!

第15回 3月 定例会

会議期間 29日間
(2月26日～3月26日)

市長提出議案……議案27件

(新年度予算7件・補正予算6件・条例改正8件・その他6件)

審議議案の中から PICK UP!!

条例改正



あお陶遊館アルテ
の開館時間変更

気軽に陶芸を楽しめる施設として平成20年4月にオープンした、あお陶遊館アルテの開館時間を、利用実態に合わせて4月1日から変更しています。

月1回(第4月曜日)の休館日がなくなり、開館時間は全日午前9時から午後5時までとなっています。金曜日と土曜日の夜10時までの開館はなくなりましたが、毎日開館していますので、ぜひご利用ください。



条例改正



医療費無料化
を継続!

小野市を代表する子育て支援策の一つとして、県内で初めてとなる高校生(18歳到達の年度末)まで所得制限なしの医療費完全無料化を平成31年3月31日までとして実施していましたが、令和4年3月31日まで3年間実施期間を延長し、引き続き子育て世代の経済的負担を軽減します。

人事案件



新教育長の
任命に同意

16年間教育長を務められた陰山茂氏が3月末で辞任されるため、次世代を見据えた教育環境整備や教育施策を進めてこられた教育管理部長の橋本浩明氏(59歳)を新しい教育長として任命することに同意しました。



2019年度予算を審査

2019年度の小野市予算が3月定例会に提出されました。これを受け、議会は全議員が委員となる予算特別委員会を設置して、3月14日、22日、25日の3日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。

過去最大

予算額

一般会計	255億0,000万円
特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	105億2,700万円
企業会計 (都市開発事業・水道事業・下水道事業)	58億6,000万円
合 計	418億8,700万円

《重点項目》

- ・人生100年時代を見据えた高齢者活躍の推進
- ・子育て支援・教育環境の充実
- ・安全・安心の確保
- ・新たな拠点整備と都市基盤の充実

ドローンを活用した新しい広報戦略

Q ドローンの活用方法は。

A 購入は1台だけだが、広報だけでなく、災害時の情報収集等、各部門での利用価値は高い。柔軟に対応していく。

国際交流協会の役割

Q 日本における外国人の状況が変化していく中で、国際交流協会の役割に変化は。

A リンゼイ市との交流事業中心から多文化共生事業中心への転換が求められる。状況によっては、市が事業に関わることも検討していく。

消防職員の採用

Q 消防職員数が増加しているが、今後の見通しは。

A 北分署ができ、消防職員数を増やしている。小野市は職員全体としては、今後も抑制し、少数精鋭でいくが、安全安心のための消防職員数はしっかり確保していく。

樫山駅のロータリー拡張整備

Q 樫山駅ロータリーの拡張はどのようなものか。

A らん♡らんバス匠台ルートに、樫山駅で乗降する人数が増加し、バスを小型から中型に変更する。安全性を確保するため間口を広げ、南の玄関口として再整備する。



予算特別委員会での意見

イノシシの被害対策のための侵入防止柵を

Q イノシシの農作物被害は。

A 今年度660万円の被害が出ている。侵入防止柵がないところから入ってくる状態。県にも効果的な捕獲方法を考案してもらえよう提言していく。

要望 今のところ効果があると思われる侵入防止柵の整備強化など、実効性のある対策を講じられたい。

小野南中学校の改築

Q 改築はどのようなものか。

A 改修とはなるが、同じ場所ではほぼ新築同様の建設を行う。

好古館の今後の展開

Q 好古館の今後の取組の構想は。

A 情報収集を行い、ただ物品を展示するだけではなく、コンセプトを持った展示、イベントを実施していきたい。

要望 小野市全体として、テーマを絞り込んだ最も効果的な展開を検討されたい。

施設の老朽化

Q 小野市の施設等の老朽化はどれくらい進んでいるのか。

A 市全体の有形固定資産減価償却率は50.5%。北播磨5市1町のうち、1番低い。計画的な施設等の更新を行っており、慌てて更新する必要に迫られていない。

▶有形固定資産減価償却率とは
償却資産の減価償却済の部分の割合。数値が高いほど老朽化が進んでいることになる。

特別支援学級にタブレットを

Q 特別支援学校では、支援ツールとして、タブレットを導入している。市内小中学校の特別支援学級でもタブレットを導入できないか。

A 新年度予算で計上しているのはパソコンのみ。今後、教育目標や具体的な支援方法を構築し、タブレットの必要性が認められれば、導入していきたい。

要望 児童・生徒の状況を見て、ぜひ導入を検討されたい。

市立図書館の学校への関わり

Q 学校図書の購入・管理はどのように行っているのか。

A 学校から要望があった図書を購入している。学校図書室の管理は司書教諭が行っているが、まだまだ改善の余地がある。

今後は、市立図書館と連携し、子どもたちの読書活動を効果的にサポートしていく。



常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査について、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は19議案あり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《総務文教常任委員会》

付託議案数：1件

2月26日開催

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。

付託議案数：1件

3月12日開催

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。

付託議案数：3件

3月25日開催

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。



総務文教常任委員会

《民生地域常任委員会》

付託議案数：6件

3月12日開催

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。



民生地域常任委員会

付託議案数：8件

3月25日開催

審査結果：下記3議案以外は、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。

議案第18号 小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

議案第20号 小野市下水道条例及び小野市農業集落等排水処理施設管理条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論があり、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきと決定。

議案第21号 小野市福祉年金条例を廃止する条例の制定について

反対討論、賛成討論があり、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきと決定。

反対意見

本条例の廃止は、障がいをお持ちの方への行政の気持ち・姿勢の問題として、障がい者福祉後退になると考える。

平成31年3月をもって「小野市福祉年金」の支給を廃止するのは、性急だと考える。

賛成意見

「小野市福祉年金」は、福祉サービスが未成熟であった昭和46年に創設されたもので、現在は、サービスが拡充され、当初の目的は達成されたと考える。

当事者の理解も得られていることから、一律支給ではなく、個人のニーズに合ったサービスの更なる充実につなげていくべき。

※ 条例の賛成意見、反対意見に伴い、予算特別委員会においても、同様の理由による予算議案の反対討論、賛成討論がありました。

提出議案と審議結果



★全会一致で可決・同意した議案

新年度予算	平成31年度小野市国民健康保険特別会計予算
	平成31年度小野市介護保険特別会計予算
	平成31年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
	平成31年度小野市都市開発事業会計予算
補正予算	平成30年度小野市一般会計補正予算（第4号）
	平成30年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
	平成30年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小野市水道事業会計補正予算（第2号）
	平成30年度小野市下水道事業会計補正予算（第2号）
条例	小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市立幼稚園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
その他	小野市新庁舎建設工事請負契約の変更について
	兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更について
	小野市道路線の認定について
	小野市道路線の変更及び廃止について

PICK UP2
PICK UP1

全会一致で同意した議案

人事案件	小野市公平委員会委員の選任について 小野市来住町 浅田 久子 氏（再任）
人事案件	小野市教育長の任命について 小野市王子町 橋本 浩明 氏

PICK UP3

★賛否が別れた議案と審議結果

議案等の件名		会派名 議員名	審議 結果	賛 成	反 対	市 民 ク ラ ブ					改 革 ク ラ ブ			公 明 党		民 政 ク ラ ブ		真 政 ク ラ ブ		共 産 党
						岡 嶋 正 昭	高 坂 純 子	山 中 修 己	前 田 光 教	小 林 千 津 子	久 後 淳 司	加 島 淳	河 島 三 奈	富 田 和 也	川 名 善 三	竹 内 修	山 本 悟 朗	平 田 真 実	椎 屋 邦 隆	
予 算	平成３１年度小野市一般会計予算	可決	12	3	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
	平成３１年度小野市水道事業会計予算	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	平成３１年度小野市下水道事業会計予算	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
条 例	小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	小野市下水道条例及び小野市農業集落等排水処理施設管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	小野市福祉年金条例を廃止する条例の制定について	可決	12	3	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●

※1 前田光教議員は、議長のため表決権はありません。

賛成＝○ 反対＝●

総務文教常任委員会調査報告

平成31年1月28日(月) 小野特別支援学校の取組について

「分かって動ける授業づくりへの取組」

支援ツールの利用

小野特別支援学校では、30台を導入!

支援ツールのiPadを使いながら行う発語練習やクッキー作り等、支援環境が整い児童生徒が自主的に動いている授業ができていました。

【iPadを利用した調理実習】



最適な動線

将来の就労にも繋がる中学部の作業学習は、細かな作業の積み重ねと教師のチェックの繰り返しですが、活動しやすい児童生徒の配置、適切な指導と支援ができる教師の立ち位置など最適な動線（移動経路）ができており、支援環境が整っている様子がうかがえました。

切れ目のない支援

特別支援教育の第一人者である創価大学の藤原義博教授の助言により、指導改善を進めて来られ、改めて特別支援学校への関心度が増していると感じたところです。

また、30年以上続く「オペレッタ」は、歌や踊り、セリフのやりとり等を通して、コミュニケーション能力や自己表現力を伸ばすことをねらいとしています。ぜひ、今後も多くの方々に、観ていただきたいと思います。

オペレッタ
【次回開催予定日】
令和元年
10月19日(土)

民生地域常任委員会調査報告

平成31年1月23日(水) 浄谷黒川多目的運動広場整備事業の進捗状況について

「災害時の拠点」多目的運動広場

人工芝フィールド

65mmの人工芝を採用。サッカー、ラグビーで使用するラインが色付けられ完成。

陸上競技

砲丸投げ、走り高跳び、走り幅跳び、棒高跳び、三段跳びの競技スペースが完成。

練習用サブトラックは当初より狭い整備となりましたが、陸上のバトン練習や小学生のサッカーの練習にも十分使える広さを確保。将来的に拡大も可能であるとの説明でした。



新庁舎建設特別委員会活動報告

本委員会は、平成28年3月市議会定例会において、新庁舎建設に関する調査・研究を目的に設置され、これまで積極的に委員会を開催し、協議・検討を重ね、この度、検討すべきとした項目について調査・研究を終えました。

本委員会が市当局に要望・提案した主な事項は、下記のとおりです。

要望・提案① 市民サービスについて

- ・市民の利用頻度の高い「窓口機能」は低層階に集約。
- ・来庁者が快適で利便性の高いサービスを受けられるよう余裕のある待合スペース、プライバシーに配慮した相談スペースなどの設置。

要望・提案② 議場の傍聴席について

- ・傍聴席に、車いす用スペースやスロープ等を設置し、だれもが利用しやすいものとする。
- ・傍聴席には、本会議を傍聴しやすくするための磁気ループシステム（補聴器を補助する放送設備）の導入及び傍聴者用のディスプレイの設置。

要望・提案③ 市民に開かれた議会

- ・市議会中継など情報発信を行うための議場映像音響システム導入。



委員長コメント

3年間委員長を務めさせていただきました。市役所新庁舎の移転新築により、うるおい交流館エクラ、図書館などのシビックゾーンが再構築され、郷土を愛する人たちの夢と誇りのランドマークとなるよう新庁舎建設工事を着実に進めていただきたいと思います。

(加島 淳)

議会を傍聴しませんか

☆ 5月臨時会日程 ☆

5月10日(金) 午前10時～

☆ 6月定例会日程 ☆

5月30日(木) 午前10時～
本会議(第1日) 議案説明

6月21日(金) 午前10時～
本会議(第2日) 一般質問実施

6月24日(月) 午前10時～
本会議(第3日) 一般質問実施

6月28日(金) 午後1時30分～
本会議(第4日) 議案の採決など

★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月中旬に市議会ホームページに掲載します。

傍聴者の休憩室を開設

一般質問が行われる21日(金)と24日(月)の2日間は、休憩室を開設しています。
セルフサービスのお茶も用意しています。

議会に来れなくても…

QRコードで議会中継へ簡単にアクセス!

本会議をYouTubeで生放送、録画放送しています。スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み取り、ぜひご覧ください。

市議会放送



小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どんなに遠くでも議会の傍聴ができます。市役所5階の議会事務局までお越しください。



傍聴席から見た議場

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる6月21日(金)、24日(月)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、6月13日(木)までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望される方は、希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



議会傍聴者数

3月定例会 75名
(平成31年度累計262名)

《お申し込み先》 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108 E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp

あとがき

今回、初めての試みとして、中学生に本会議傍聴や議長との懇談会をしていただきましたが、アンケートに、市政に対するしつかりとした意見が書かれており、驚きました。しかし、議会中継や市議会だよりを見たことがある方は少ないという結果でしたので、これを機会に、自分たちの住む町にもっともっと興味を持っていただきたいと思います。さて、元号が平成から令和に代わるこの時期に、小野市議会だよりも全ページフルカラーに生まれ変わりました。

(市議会報編集委員
山中修己)